



いつもと違う校舎の風景・分散登校

8月28日から9月9日まで、蔓延防止措置が取られる中、学校での感染を防止するために『分散登校』を実施

しました。

登下校の安全を確保するために、地区別に登校日を変えての分散登校中、確かに教室での密はできずにいました。話し合いなどの集団の活動が制限されているため、教室はどこか活気のなさが感じられました。交差点での朝の挨拶もどことなく元気がないような…。給食時間、中館の廊下に行っても、『黙食』が徹底されていてしんとするばかりです。感染防止の行動がきちんとできていると評価すべきことですが、会食における食事の楽しさの一面がないことが残念に思われます。が、こればかりは仕方ありません。

さて、そんな中、9月2日付けで、学習用コンピュータの持ち帰りに関する通知(3通)を配布しました。このタイミングでの配布となると、「いよいよリモート授業？」ということをお考えになった方もいるのではないかと推察されます。

今回は、「GIGA スクール構想」に基づき、PC 端末(Chromebook)を家庭でも活用することを想定したお願いと調査です。

小学生は学年による成長の違いが大きいいため、全校一斉に同じような使い方をすることはかなり困難といえます。そのため、それぞれの学年の実態に合わせて、できることを選んでPCの活用を行っています。低年生では、写真を撮ったりお絵かきをしたり、高学年になると、お互いの意見を共有できるような「ジャムボード」という機能を使ったりしています。分散登校期間に全学級で使ってみることにしたのは、「meet」というビデオ会議の機能です。

GIGA スクール構想で目指すものは、ただ単にPCを使うことではなく、学習の効果を大きくするためのツールとしてPCを使うことです。勿論、PCを使いながらコンピュータリテラシーを身につけていくこともできます。

今後、学年の状況に合わせてPCの活用を行っていく予定です。また、家庭で利用をする場合には、事前に連絡しますので、その時にはご家庭でのご協力をお願いします。

◇GIGA スクール構想◇

(以前にもお知らせしましたが…再度)

- ・1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する
- ・これまでの我が国の教育実践と最先端のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す



理科の時間、校庭で夏が終わるころのサクラの様子を観察に行ったところ、偶然「アオスジアゲハ」が飛んできました。久しぶりの目撃に、水色とエメラルドグリーンの中のような美しい青い筋のある羽に、ついつい見入ってしまいました。

雨の日には、サワガニも北館の渡り廊下にやってきます。北小の豊かな自然を感じました。

祝！2000本安打！

昨年の『きたっ子No.7』で紹介した、西武ライオンズの栗山巧選手が、9月4日、球団の生え抜き選手として初めて2000本安打を達成しました。バットの塗装が剥げるまで打ち込む練習は、きっと今年のキャンプでも行っていたのでしょ。『努力は報われる』ということをする人も言いますが、まさにその通りだと思いました。

今や「ミスターライオンズ」とも呼ばれる栗山選手。今後の活躍も楽しみです。



「努力はうそをつく」???

栗山選手に関して書きながら、ふと、『努力はうそをつく』という言葉の記事があったことを思い出しました。一体どっちなんだと思うでしょうが、この言葉だけでは真意は伝わりません。(以下引用)

・・・羽生結弦選手が「努力は嘘をつく」と言ったのは、あるテレビ番組のインタビュー。彼はこう続けている。「努力が嘘をつかないんだったら、やっぱり練習量を一番している人が、毎回毎回優勝できると思う」しかし、「努力」を否定しているわけではない。「努力は嘘をつく。でも無駄にはならない。努力の正解を見つけることが大切」

正しい努力をする必要があるというわけだ。

正しい努力とは何か？

期せずしてダルビッシュ有はこう言っている。

「なんの計画性もなく努力したところでむくわれません。ただその失敗に気付いて計画性を持ったときに、経験した無意味な努力を無駄にするかしないかで人生大きく分かれると思います」

計画性のない努力は無意味だというのである。

予備校講師の林修もこう言っている。

「努力は裏切らないという言葉は不正確だ。正しい場所で正しい方向で十分な量をなされた努力は裏切らない」・・・

努力というのは大切な行為です。羽生選手が言うように『努力は無駄にならない』というのも本当のことでしょうし、正しい努力の方向に気付いて進むこともとても大切な気がします。

9月5日の『初耳学』に出演した、葎崎市出身の文田健一郎選手（東京オリンピック、レスリング銀メダリスト）が、インタビューの中で次のようなことを話していました。

「(僕は) 目標を決めてから、そこに向かって少しずつ進んでいくのが今までの生き方だった。」画面には、『ゴールから逆算する父の教え』の文字。何か、羽生選手やダルビッシュ選手の言葉に通じるものがあると思います。

短期でも長期でも、ゴール（目標とする姿や成果）を決めて取り組む。なるほどと思いませんか。そして、「努力する」という行為自体も、とても大事なことだと思います。

《お願い》

今年度のPTAの取り組みとして、自転車乗車時のヘルメット着用の推進について提案させていただきました。9月現在の状況を調査するために、安心メールのアンケート機能を使います。本文末のURLから回答していただきます。(本文にURLがあるメールをブロックする設定の方には届きません) 学年グループごとにメールを出しますので、メールが届きましたら、回答をお願いします。その学年のお子さんごとに回答をお願いします。メール発信は、9月14日を予定しています。

《感染防止の3つの基本 ①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い（山梨県HPより）》